

夏の星座

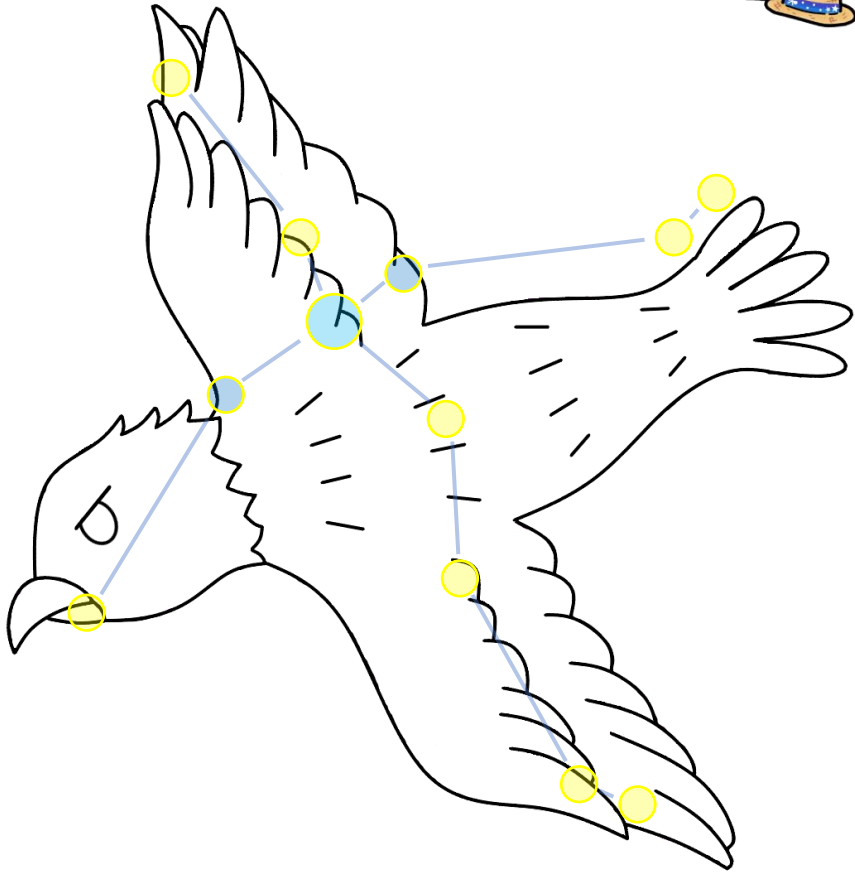
わし座



星座絵に色を塗ってね!



わし座のお話し



古星図でわし座の近くの星座絵を見ると、わし座のすぐ下に少年が描かれていて、わし座が少年をさらうように見えます。

実は昔、ここに少年を描いた小さな星座「アンティノウス座」がありました。

今から1800年ほど前、アンティノウスという美少年がいました。

ローマ帝国の皇帝ハドリアスは、アンティノウスをとてかわいがっていました。

しかし、皇帝は年老いており、寿命をのばすため、アンティノウスは自分の命を皇帝にささげました。

悲しんだ皇帝は、自分がかわいがった少年の名前を星座にして、空に残したと言われています。

今はアンティノウス座はなくなり、わし座の一部となっています。

ギリシャ神話では、大神ゼウスが、自分の近くにみずがめ座の美少年ガニメデスをおきたくて、みずからワシに化けてガニメデスをさらったと言われています。

そのワシがわし座として描かれています。

わし座の特徴①



七夏の彦星、アルタイルがあるよ。織姫星（ベガ）より少し暗いんだ。

わし座の特徴②



アルタイルは、夏の大三角を作っている星のひとつだよ。

わし座の特徴③



羽を広げ羽ばたいているわしの姿が描かれているよ。アルタイルには、「飛ぶわし」という意味があるんだ。

わし座の見つけ方



こと座を見つけ、そこから南に目を落とすと明るい星が3つ並んでいるのが目印。この辺りがわし座で、3つのうち最も明るいのがアルタイル。